

平城京右京二条三坊一坪の発掘調査で出土した
漆紙文書（具注暦）について

西大寺駅南地区土地区画整理地方特定道路整備事業に係り、平城京右京二条三坊一坪の発掘調査を実施したところ、下記の成果がありました。

記

1. 発掘調査の場所 奈良市西大寺南町694番地他
2. 発掘調査の期間 平成16年5月11日から6月29日
3. 発掘調査の主体 奈良市教育委員会
4. 発掘調査の原因 西大寺駅南地区土地区画整理地方特定道路整備事業に係る事前発掘調査
5. 調査成果の概要 平城京右京二条三坊一坪の北端部で発掘調査を行なったところ、奈良時代から平安時代にかけての井戸2基、土坑2基、柱穴、中近世の素掘り溝を検出するとともに、以下の特筆すべき成果を得ることができました。

奈良時代の暦が出土

- ・井戸のなかから、紙に書かれた^{くちゅうれき}具注暦が出土しました。
- ・宝亀9（778）年の暦で、5月29日から6月7日にかけての8行、8日分が残っていました。
- ・暦は^{だいえんれき}大衍暦という暦法を用いて作られたもので、この暦法によるものとしては最古の例となります。
- ・平城京をはじめとする都城遺跡では初の出土例となりました。
- ・この暦は漆が付着していたため、腐らず偶然残ったもので、このような状態で残った文書を^{うるしがみもんじょ}漆紙文書と呼んでいます。

平成17年3月7日（月）から3月31日（木）まで、埋蔵文化財調査センターで開催する平成16年度発掘調査速報展示において展示致します。

（土・日祝日休館）

問い合わせ...教育委員会社会教育部文化財課

埋蔵文化財調査センター TEL0742-33-1821